



# くすの木



12月の生活目標：「交通ルールを守り 安全に気をつけて 登下校しよう」

平成28年度No. 18(文責:徳弘)

四万十市立具同小学校(TEL:37-3249)

## ☆☆よりよい校風 やる気に満ちた二学期終業☆☆

長かった二学期の一人一人の頑張りや育ちを確かめ合う17日(土)の個人面談は、いかがでしたでしょうか?学級担任と心通う話が出来ましたでしょうか。面談での話を、これからの家庭生活や学校生活にうまく生かして欲しいと思います。

“スポーツの秋” “芸術の秋” “文化の秋” “勉強・読書の秋”にあたる二学期は、運動会、陸上記録会(5・6年生)、書画展(市展・郡展・県展等)、文詩展(作文、詩、読書感想文等)、秋のふれあいランチ、わたり会合同発表会・音楽祭(5・6年生)、マラソン大会、そして、特別な企画「法村友井バレエ公演」や「四万十川国際音楽祭」等々、充実した校内外の行事が連続しました。多彩な行事、多様な取組に、子ども達は、素直で意欲的な態度で臨み、それぞれの魅力を味わい楽しみながら世界や見聞を広げ、各自の個性や能力を発揮し伸ばして、実りある成果や成長をみせてくれました。また、各学年の大切な内容が詰まった二学期の学習にも、先生の指導を受けながら、各学級でしっかりと取り組めていました。

二学期の学校全体をふり返って素晴らしかった点をまとめます。

### ◆学校生活の落ち着きと安定感◆

朝会に始まる学校生活。みんなが集まる全校朝会も、学級毎に静かに楽しむ読書朝会も、毎日の給食や掃除なども、いつも落ち着いてでき、ほぼ安定した学校生活がおくれました。時々、ケガやトラブルはありますが、去年に続いてガラスが1枚も割れていません。行事が続いても、多彩な取組や多少の予定変更があっても、崩れませんでした。チャイムや放送を聞いて、自分達で進んで行動ができました。

秋季大運動会は、途中、突然の大雨に見舞われ、グラウンドが水浸しになって中断しました。しかしながら、子ども達は動揺することなく、雨が弱まるまでテント内で静かに待ち、やがて、教室への移動、教室での待機、そして、改めて運動場への移動、競技の再開…、1年生から6年生まで、担任の先生方の導きに素直に整然と行動ができました。普段の学校生活の落ち着きと安定の象徴をみる思いでした。

### ◆上級生のまじめさとひたむきさ◆

これらの陰には、上級生である5・6年生のまじめさとひたむきさがあります。縦割り班での毎日の掃除、全校集会や学校行事での集まり方や態度、学校のリーダーとしての上級生がきちんとしている、下級生のお手本になれる、そんな今の姿が具同小学校の校風をさらによいものに変えていってくれていると感じています。

もちろん、授業中の態度も学年が上がるごとに良く、それはそのまま学力調査やテストの結果にもつながっています。『早ね・早起き・朝ごはん』を中心に望ましい生活習慣づくりを目指す「いきいき生活カード」にも、11月調査では、これまでにない5・6年生の達成率がみられました。物事に真剣に取り組む、ひたむきに取り組むことで、一人一人が伸びる、みんなが伸びることにつながっています。





1年:生活科



5年:総合



6年:総合

### ◆生き生きと学ぶ 学びを楽しむ◆

今年の二学期も、教育委員会の各種学校訪問が続きました。「いつ訪問しても、授業が落ち着いてきましたね。どの学級の子も達もしっかりと授業に取り組めていますね。」「具同小学校の子も達の学力が安定してきましたね。向上してきましたね。」などといった嬉しい評価を受けました。

また、高知県教育委員会『探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業』の第2年次研究発表会として、1学期の理科、国語・算数に続いて、11月17日には、全学年の生活科・総合的な学習の時間の授業を公開しました。「去年より研究が進み、先生方と子ども達が明るく生き生きと授業をしていますね。子ども達が学びを楽しんでいますね。」「学校の環境や図書室・教室の環境も学ぶ環境になっていますね。」など、子ども達や先生方の頑張りや成長を認めていただきました。

日々の授業、一時間一時間の授業を大切にするとみ重ねの成果がみえます。

### ◆やさしさと思いやり、規範意識など道徳性の高まり◆

子ども達の行動や言葉の中に、友達や仲間を思いやる心を感じる場面がよく見られます。ケガをした子や体調の悪い子へ、寂しい思いをしている子やくじけたり落ち込んだりしている子へ、自分より年下・下級生の子へ、さりげなくやさしい言葉や行動ができる子ども達が増えています。あいさつや言葉遣いが美しく気持ちのよい子も着実に増えています。学校のきまりを守ることに意識の高さがみられるようになりました。まだまだ悲しい思いや辛い思いをした子、した場面もありました。

“よい言動はほめ、心ない言動は正す” 全教職員で心して対応したいと思います。学校として克服したい課題もあります。また新学期に取り上げます。

終業式のあと、担任の先生から通知票が手渡されました。一人一人のお子さんの二学期の頑張りに対する評価や励ましが込められています。通知票をもとに、学習面と生活面の両方をみながら、お子さんと十分に話をして欲しいと思います。

本校の通知票は、返す必要がありません。机の近くなどよく目につく所に貼って親子で時々見ながら、良い点はどんどん伸ばし、課題となった点は、気持ちを新たに、まとめの三学期の学習や生活に活かしてほしいと思います。

## 楽しく有意義な冬休みにするために

12月23日から1月9日まで、18日間の冬休みに入ります。今年は、暦の関係で最長とも言える長い冬休みです。年末年始は、ご家族やご親族の集まりもあるにぎやかで楽しい休みになることでしょうか。この冬休みを楽しく、有意義に過ごすためにも、まずは、健康と安全に気をつけながら、計画性のある冬休みにし、年の暮れや年の初めの風情、日本らしいよさを体感できるよい機会にしてほしいと思います。

学校では、「冬休みのすごし方」を中心に十分指導しますが、ご家庭でも、次の点に格段のご配慮をお願いします。



**◎いのちの安全を第一に…交通安全、火の用心、不審者等からの安全を！**

★交通ルールや学校のきまり、家庭での約束ごとを守りましょう。

\*夕方、日の暮れの早い日が続きます。心配をかけない行動に心がけましょう。

★迷惑な遊びや行動、危険な遊びや行動をしないよう気をつけましょう。

**◎健康できまりある生活を…一日の生活リズムと基本的な節度を守ること！**

★夜更かしや、だらだらとゲームやテレビにひたる生活は避けましょう。

**◎学習をしっかりと…時間帯を決め冬休みの宿題、自主学習、読書をこつこつと！**

★2学期は、大切な学習内容が続きました。復習をしっかりとしましょう。

**◎勤労と責任を…家族の一員として役割や分担を決め、進んで働こう！**

★大掃除、整理整頓、料理や片づけ…家族一緒に取り組みましょう。

**本は知識の宝庫 心の栄養**

冬休みに読書量を増やしましょう！

**■年間図書読破目標■**

★1・2年：80冊

★3・4年：60冊

★5・6年：40冊

**\* 市民図書館（四万十市役所2階）も利用しましょう！**

**体をきたえよう！**

**◆冬のスポーツ・体力づくり◆**

なわとび、マラソン、スキー体験など、家族で冬のスポーツを楽しみながら、体を鍛えましょう！

☆「黒潮町少年駅伝大会」と「小京都四万十ジュニア駅伝大会」の選手の皆さんは、自主的な練習にも励みましょう！

**\* 学年・学級通信もご参照ください！**

**第三学期始業式**

**◆ 1月10日（火） ◆**

大掃除	8:15～	8:45
学級朝会	8:50～	9:00
始業式	9:05～	9:25
学級活動	9:30～	10:15
授業	10:35～	

☆給食があります。

☆下校時刻は学年によって異なります

◎ぞうきんを1人1枚お願いします。

**\* 100円ショップの雑巾は避けて下さい。**

◆給食衣については、二学期最後の当番のお子さんの家庭において、洗濯とアイロンかけをお願いします。

10日に忘れず持たせて下さい。

止まれ

**●●●●● 安全指導のお願い ●●●●●**

「交通安全」は、生命や安全に関わることとして、力を入れて指導をしています。道路の歩き方や道路の横断、自転車の乗り方など、地域でも、危険な場面を見かけたら、子ども達へのご指導をお願いします！



1月10日（火）の三学期始業式には、新年・新学期を迎え、ご家族・ご親族の愛情に満たされ、新たな夢や希望をもった子どもとの再会を楽しみにしています。

**新しい年が 明るく素晴らしい年でありますように！**

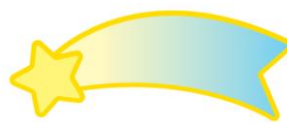
**四万十市立具同小学校職員一同**



# 入賞おめでとう

こども県展：高知県教育文化祭運営協議会、高知新聞社、高知放送主催

- 図画**■〔特選〕 1年：青木あつき 石井かい 金子あすか 川村なつめ  
2年：山下ななこ 除本けんしん  
4年：柴田 創太  
5年：泉谷 柚奈 岡田 颯海 千代岡幸那
- 硬筆**■〔特選〕 1年：山崎ねい  
5年：新谷 友徠 古居 玲乃  
6年：北代 美羽
- 毛筆**■〔特選〕 5年：古居 玲乃



◎二学期は子ども達がそれぞれの力を発揮し、たくさんの賞状をいただきました！



## ■□■□■□ “ニューなわとび台” 誕生！！ ■□■□■□

11月29日の校内マラソン大会が終わると、子ども達の運動は、青空タイム(金曜日の長休み)や体育の授業でも楽しんでいる“なわとび”に移りました。

二年前、当時の生徒指導協力員川田賢助さんが心を込めて造ってくれたなわとび台が、二年間の風雨と子ども達の元気なジャンプの連続によって老朽化しました。それでも子ども達は、台の両端にタイヤを敷いて工夫して使っていましたが、「今までのようなジャンプができないので、新しいなわとび台を造って给我们ませんか」という切実な声、ていねいな要求の声があがってきました。

14日(水)のPTA執行部会でそのことを提起したところ、その場で、「子ども達のために新しいなわとび台を造ろう！」という結論になりました。さっそく、18日(日)、男性執行部員(会長・副会長)と保護者有志に宮川教頭が加わって製作作業にあたり、6台の“ニューなわとび台”が誕生しました。

新しくできたなわとび台は、飛び板部分を厚く張り合わせて加工した特製品で、きつとこの台から子ども達の新しい技が、いきいきと楽しみ躍動する姿が、湧き上がる歓声が生まれることでしょう。執行部の皆さんありがとうございました！



19日(月)きれいに塗装していただき仕上がりました！

学校に多数のハトが住みつき  
フン害に悩まされています。  
良策があれば教えて下さい！

